

地域産業支援委員会H28年度第3回例会議事録

2016. 12. 11(日)発行 地域産業支援委員会 委員長 末松正典

**1. 日時** : 2016/12/3 (土) 10:30~12:40

**2. 場所** : 九州本部 会議室

**3. 出欠 (敬称略)** : ■赤石、□味澤、□大里、□小出、 ■古賀、 □末松、 ■田口、 □西尾  
 【□出席者、 ■欠席者】 □久富、 □松永、 ■松原、 ■森川、 ■八百屋 □山田、 □吉田  
 [オブザーバー出席 : □長野副本部長]  
 (欠席委員からは決議一任を頂いています)

**4. 議題**

- 1) H28年度第3四半期の活動報告 :
- 2) 産総研主催九州・沖縄産業技術オープンデー出展対応
  - ・当日展示、技術相談対応準備
  - ・技術士だより九州 (2017年1月15日号) への搭載執筆対応
- 3) 技術士だより九州 (2017年4月15日号) への執筆準備について(二月会を計画)
- 4) 次回の技術指導例紹介の発表者の選定
- 5) その他

**5. 配布資料類**

- 資料①-1 : H28年度活動経過
- 資料②-1 : PRリーフレット作成メモ
- 資料②-2 : PRリーフレット案
- 資料②-3 : 技術相談募集PRリスト先リスト案
- 資料③-1 : 中小機構九州本部訪問報告書
- 資料③-2 : 九州知財交流会参加報告書
- 資料③-3 : 二月会参加報告書
- 資料③-4 : ニュービジネス協議会からの依頼書(専門審査委員会委員就任)
- 資料③-5 : 九州工学研究協会について
- 資料④-1&2 : 産総研主催九州・沖縄産業技術オープンデー出展パネル改定案
- 資料④-3&4 : 技術相談HP変更内容説明資料
- 資料⑤-1 : 機械部会web中継聴講報告

**6. 議題に対する結果 (決定事項など) :**

**6. 1 各グループのH28年度3四半期の活動報告 :**

**1) 第1グループ 【文責 : 末松】**

(1) 資料①-1 : 5グループ全体の活動まとめ。特に指摘事項はなく統括書類として継続使用する。

**2) 第2グループ 【文責 : 味澤】**

- (1) 「資料②-1~3」について主旨及び案を説明(味澤委員・山田委員)、以下に意見抜粋
  - i) 統括本部としてのパンフレット類はあるが、九州本部としては何もないので作っても良いのではないかと。

- ii) 今回提示案では、飽く迄も外部に対して技術士会として何が出来るかとの観点から、代表的事項として「技術の相談」をメインにしている。技術士会及び九州本部の内容は「——ご紹介（2枚目）」で対応可能と考えている。
- iii) A4版4枚をA3版1枚裏表で表示すると成ると、A3版を折ってA4サイズでの仕上がりとなる。従って、順番を「1枚目・3枚目・4枚目・2枚目」とすれば表・裏が「1枚目・2枚目」と成りより良い構成となるのではないかと。
- iv) 「対応・支援例の御紹介（4枚目）」の「QRコード」は不要。
- v) 「技術の相談（3枚目）」の空欄下側に「前提条件」を追加し、「技術相談」へ飛ぶ「QRコード」を追加。
- vi) 「表紙（1枚目）」には工夫が必要。何か良い案はないか。
- vii) リーフレットは、事務局のコピー機で作成・変更等出来る形式（用紙類等）で進めよう。

## (2) 確認・決定事項

- i) 今回の意見を配慮し、次回迄に第2Gでリーフレット（パンフレット）案を作成する。
- ii) 前回話題と成った「技術相談件数」の確認は、長野副本部長が現在のシステムでカウント確認可能との事なので、定期的に件数を表示してもらう事とした。

## (3) その他（吉田委員報告）

- i) 大阪の「ひまわり経営サポート」からの依頼の件、返事をしておいたがその後何もない。
- ii) 直近で2件の技術相談が来ており対応中。

## 3) 第3グループ【文責：末松】

### (1) 資料③-1：中小機構 九州本部 訪問報告書（味澤委員から報告）

中小企業支援機関の多くは、士業を交えた協議会等を設置している。中小機構に於いても同様な協議会が設置されているかどうかの情報は入手できていない。中小機構の活動について「技術士だより・九州」に寄稿いただいたので、ご挨拶訪問時などを利用して情報収集する。

### (2) 下記資料に基づいて報告された。特に指摘事項はなく、継続してフォロー活動することとした。

- ・資料③-2：九州知財交流会参加報告書（西尾委員から報告）
- ・資料③-3：二月会参加報告書（末松委員から報告）
- ・資料③-4：ニュービジネス協議会からの依頼書（専門審査委員会委員就任）（末松委員から報告）
- ・資料③-5：九州工学研究協会について（小出委員から報告）

## 4) 第4グループ【文責：末松】

### (1) 「産総研九州・沖縄産業技術オープンデー」出展の件：6. 2項に詳細を記載した。

## 5) 第5グループ【文責：末松】

### (1) 統括本部の機械部会主催のWeb 中継受講を継続。（資料⑤-1）

○9/9（金）参加者3名。演題は下記の1件。（末松委員から報告）

「半導体ウェーハにおける切断技術（レーザー加工と砥石加工）」

遠藤智章氏（(株) ディスコ 技術開発本部 レーザ技術部）：技術士機械部門登録、H27年

○10/14（金）参加者2名。演題は下記の2件。（松永委員から報告）

- ・「大学でのものづくり教育へのPBLの試み」 名古屋大学理学研究科准教授 山口隆正氏
- ・「冷却システムの更新と省エネ化」 (株)IHI プラントエンジニアリング 濁川義和氏

### (2) 久富委員から技術指導例を発表してもらった。

- ・裁判の調停、司法委員、専門委員としての活動概要を紹介いただいた。
- ・裁判自体の概要（簡裁と地裁の違いや調停の概要）
- ・その中で、経験した各種の事件における事例を紹介
- ・争いは、双方の認識の相違が多く、注意が必要

## 6. 2 今期開催される産総研主催九州・沖縄産業技術オープンデー出展に関して(H28.12.7開催) :

(1) 当日の技術相談は以下の体制で対応する。

- 1 班 (9:30~13:30) : 服部、吉田、末松
- 2 班 (13:30~17:30) : 味澤、松永、(末松)

(2) 配布用資料 : 次の4つを準備

- 展示する2枚のパネルをA4チラシにしたもの (資料④-1&2)
- 技術相談のHP紹介記事 (資料④-3)
- アドバイザー一覧 (資料④-4) ; ただし、技術相談者へ必要に応じて渡す場合にのみ利用。
- 日本技術士会のパンフレット

(3) 技術士会紹介DVD : 昨年利用した青年技術士会作成DVDの音声改善版を使用 (久富委員改善)。

## 6. 3 技術士だより九州への搭載執筆者の決定 :

- ・ 2017.1.15号の“技術士だより・九州”には、2016/12/7に開催される「九州・沖縄産業技術オープンデー」の記事とする。松永委員に執筆いただくこととした。
- ・ 技術士だより九州 (2017年4月15日号) への執筆準備について :  
二月会を計画している。これについては、吉田委員に執筆いただくこととした。

## 6. 4 次回の技術指導例紹介の発表者の選定

技術指導事例紹介は候補者がでなかったため末松が行うことにしたい (北九州イノベーションギャラリー(KIGS)からの依頼業務を予定)。

## 6. 5 その他 :

- ・ 次回例会開催日時 : 2017年3月4日 (土) 10:00-12:00 (九州本部会議室にて)
- ・ 新委員 (田口委員、久富委員、松永委員) には、5つのグループのうち、どのグループに参画を希望されるかについて、今回未確認でしたので、次回に確認させていただくことにします。

以上